

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：令和7年3月15日

事業所名：放課後等デイサービス あみふらす3

対象人数 (保護者) 21人 回答者数 18人 回収 85.7%

アンケート項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備				
1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1		ご意見を踏まえた対応 建築基準法上のルールを踏まえたうえで、最大限のスペースを確保しています。
2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	3		昨今、採用が非常に困難になっており人手不足気味になっています。 従来の採用方法では応募数も激減していますので、十分な人員配置ができるように採用活動の見直しをしています。
3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	6		事業所が2階にあり、階段を上る必要がありますが、2階フロアは完全にバリアフリー化をしています。 階段の問題に関しては、賃貸物件であるための権利関係や構造上の問題、コストの問題などから解消が難しい状況です。
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	2		コロナ禍以降、除菌清掃を徹底しています。 天然アロマを使用し、空間洗浄も行っていきます。
適切な支援の提供				
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	1	子ども一人ひとりの性格や心理状態などを分析したうえで支援活動を行っています。 また、作業療法士を配置し、専門的視点からの支援も行っていきます。
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1		今年4月に制度改正があり、専門的な支援活動に関してルールが設けられました。 そのため、専門的支援を実施する際に従来の集団活動に参加できないケースが出ています。 大変申し訳なく思うところですが、ルール上両方の支援を実施することが困難な場合もあります。ご了承ください。
7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	1	五領域と言われる様々な分野からアセスメントを行い、また性格や心理状態なども考慮して支援計画を作成するようにしています。
8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	3		今年の作成分から盛り込ませていただいています。
9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2		集団活動、小集団活動が中心となるため毎日必ずしも支援計画に沿った内容になるとは取りませんが、同じ課題を持った子どもたちをグループにし、個々の課題に沿った視点を持って活動に取り組んでいます。
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3		Hugで内容を確認しサインしているのですが、最近似たようなプログラムが多いと感じます。同じことを繰り返し覚えることは大切ですし、子どもたちも飽きずに取り組んでいるのであれば問題ないと思いますが、慣れてきたら多少の変化も取り入れて頂けると嬉しいです。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のもとも活動する機会がありますか。	7	8	3	各曜日ごとに活動テーマが異なっています。 続けて取り組むことも大事ですので、各曜日1か月間同じ内容で続けていきます。 ご指摘の通り、飽きが出てしまうケースもありますが、回を追うごとにルールを追加したり、難易度も高めるように工夫しています。 とはいえ、子ども達が楽しんで取り組んでくれることが一番の療育活動かと考えますので、継続性にも拘らず柔軟にプログラムを考えていきたいと思っています。
保護者への説明等				
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	3		重要事項説明書の読み合わせ、解説をさせていただいております。 長時間になってしまうケースも多く、申し訳なく思っておりますが、運営や支援内容について納得してご利用を頂けると幸いです。
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	4	1	本来は毎々に訪問させていただいて説明させていただくべきではありますが、時間的に無理があり一部簡略的になってしまっている部分も否めません。 業務内容を見直し、丁寧な説明ができる時間を作っていきたくと思っています。
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	13	3	家族支援に関しての取り組みはまだできていません。 日々の相談支援の中でのアドバイスに留まっています。 支援現場を見ていただき、ご家庭での支援について意見交換ができる場面を用意していきたいと考えています。
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	1	その日の様子からスラスラとその日のうちに詳細を見ていただくようにしました。 その分、送迎時にお話しする時間が増えたので、お困りごとを確認させていただいております。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4	4	面談はないが、毎回の送迎の際に何かあれば相談させてもらっている
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2		心理的な分析と、そこへの理解・共感については常に意識を持って支援しています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	8	9	イベントの観覧で他の利用児の保護者と一緒にはなるが、話したりすることは特にしていないし、あまり求めているわけではない
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	7		相談に対しては直接的な回答を目指しておりますが、サービスの範囲を超えるなど直接的に回答や支援が難しい場合は、関連サービスや窓口などが提案できるようにしていきます。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	1	送迎時を中心に、時には電話や面談を通じて状況把握に努めております。 遠慮なくご意見を聞かせていただきたいと思います。 LINE等でも結構です。
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		支援システムやSNS、ホームページ等で情報公開をしておりますのでご確認くださいませようお願いします。
22 個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2		データ情報は専用回線を使用しており、通常のインターネットより侵入が難しくなっています。 紙による情報は、書庫に鍵をかけて保管しています。
非常時等の対応				
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	9		HPなどにより閲覧可能な状態にしたいと思いますが、組織変更・入退社・異動等により更新が必要な箇所がありますが、なかなか手が回っていない状況です。 閲覧可能になりましたらお知らせします。
24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	8		毎年10月に避難訓練、夏頃に外部施設にて防災体験を行っています。
25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	4		安全が最優先だと考えておりますが、ご指摘の内容に関しては早急に対策を考えるようにいたします。
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	3		辛い大きな事故はありませんでしたが、怪我等も気付いた点は報告に努めています。 気付かずに報告できなかったケースもありましたが、備があること連絡を頂いたことで、振り返り検証し原因追及ができたケースもありました。 気になる点がありましたら、遠慮なくお知らせください。
満足度				
27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2	1	音（大きな声、騒音など）や特定の子どもとの過去の出来事を引きずってしまい、特定の場面でパニックになってしまう子もいます。 環境改善について取り組んでいいるものの、一定の子には上手く対応できないのが実情です。 安心して楽しく通所してもらうことが療育的にも一番重要な部分だと考えていますので、引き続き対策を考えていきます。
28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	1	音（大きな声、騒音など）や特定の子どもとの過去の出来事を引きずってしまい、特定の場面でパニックになってしまう子もいます。 環境改善について取り組んでいいるものの、一定の子には上手く対応できないのが実情です。 安心して楽しく通所してもらうことが療育的にも一番重要な部分だと考えていますので、引き続き対策を考えていきます。
29 事業所の支援に満足していますか。	16	2		多くの方が満足していただけてうれしく思います。 全ての方に満足していただけるように引き続き努力してまいります。